



【鈴木 茂 プロフィール】

- ・昭和30年生れ。
- ・大石小・中学校、熊谷高等学校、明治大学法学部卒業。
- ・大官市立（現さいたま市）春里・泰平・指扇中学校教諭。
- ・大石小・中学校PTA会長。
- ・全埼玉私立幼稚園連合会理事。
- ・上尾市議会議会報委員長
- 【現在】
- ・上尾市議会議員（無所属） 福祉常任委員会所属、上尾政策フォーラム所属
- ・(学) 浅間台幼稚園園長
- ・上尾私立幼稚園協会副会長。
- ・(社福) 特別養護老人ホーム「パストーン浅間台」理事長

問い合わせ先 後援会事務所 〒362-0073 上尾市浅間台2-18-3
 TEL 048-771-7656 FAX 048-774-5880 E-mail info@asamadai.ed.jp
 浅間台幼稚園 〒362-0076 上尾市弁財2-5-3 TEL 048-774-1046

みなさんこんにちは。上尾市議会議員 鈴木 茂です。6月10日から6月27日まで上尾市議会定例6月議会が開かれていました。私鈴木茂が一般質問をしましたのでその内容を中心にご報告させていただきます。

＜ 新図書館について ＞

私達上尾政策フォーラムは、5月18日に上尾市と同じ規模で同じ時期に図書館建設を計画している白岡市に視察に行って来ました。その視察で感じた事を中心に上尾市と白岡市を比較しながら質問をしました。



白岡図書館イメージパース
(特産物の梨だなをイメージした大屋根)

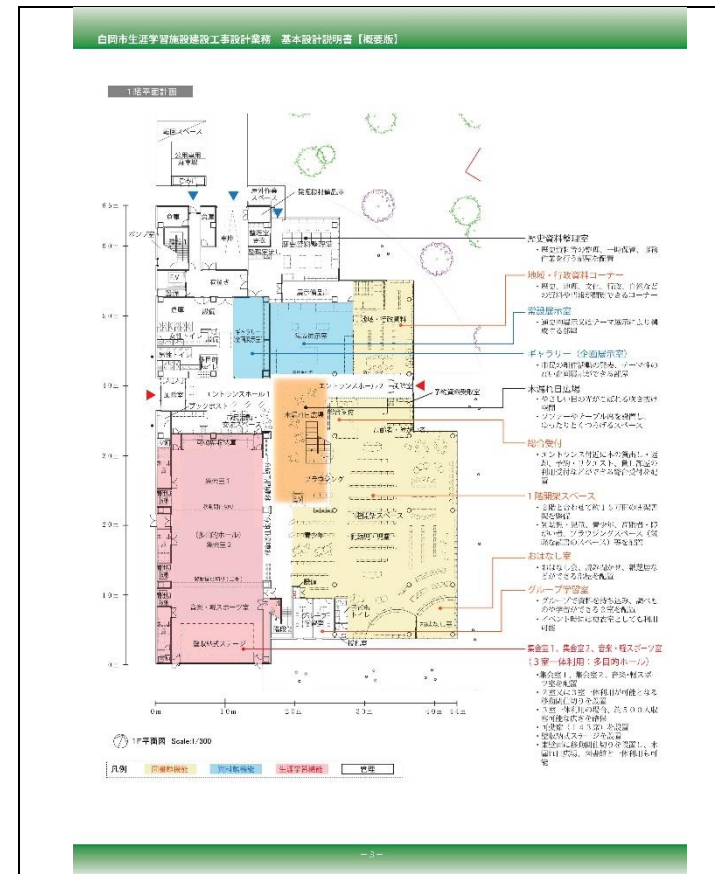


上尾市図書館イメージパース
(現在の図書館によく似た外観図)

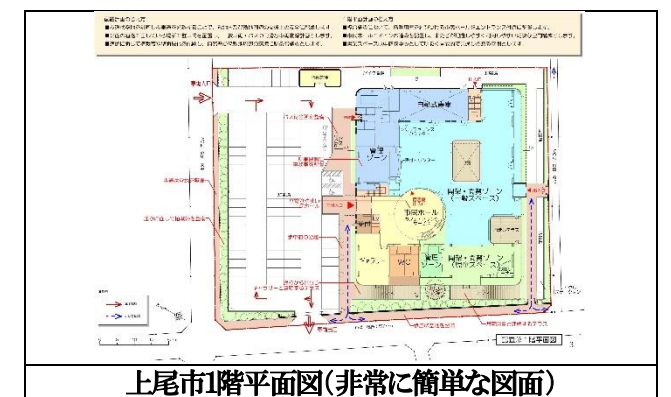
①白岡市の設計は図書館に対する企画を提案してもらい、複数の中から優れた提案をした者を選定する「プロポーザル方式」で(株)アール・アイ・エーが選ばれた。設計料は基本設計・実施設計込みで7,600万円。上尾市の基本設計額・実施設計額は？設計業者は？選んだ理由は？

回答:基本設計額は、22,572,000円。設計業者は(株)楠山設計。指名競争入札で決定。実施設計の予算額は93,262,000円

*上尾市の基本設計額と実施設計額の合計は115,834,000円。白岡市は7,600万円。同じ規模の施設でありながら4,000万円上尾市の方が高くなっています。そして基本設計を見比べると細かな点まで設計されている白岡市に対して上尾市の基本設計はかなりざっぱなものです。内容にも相当な差があります。



白岡市1階平面図(開架スペースの他に歴史常設展示室、二つの集会室、音楽、軽スポーツ室)



上尾市1階平面図(非常に簡単な図面)

②建設予定地の上平公園決定は、いつどこで決定されたのか？他の候補地である現図書館、西口大駐車場、桶川の駅前図書館のような駅ビルとの比較検討の資料はあったのか？また、それは市民に白岡市のように文書等で公開されているのか？

回答:建設予定地は平成26年1月22日の政策会議で候補地として決定した。この会議では、図書館本館位置での建て替えや上尾駅西口大駐車場、大谷北部第4土地区画整理事業地内、上平公園西側の4か所について比較検討した。この会議での比較検討資料および議事録は、情報公開請求があれば公開している。

*白岡市は白岡市生涯学習施設基本構想・基本計画という冊子を平成27年3月に発行しています。そこで建設予定地の選定過程を細かく紹介しています。候補地3か所のメリットデメリットを表にしています。事業費の軽減・建設費の確保・整備期間の短縮の3点から公用地に決定されました。場所は市役所の西側の公有地です。白岡駅から1.2kmです。冊子で公開している白岡市とお金を出して請求すれば見せてあげますという上尾市では情報公開という点で大きな差を感じます。

③上平地区の図書館建設予定地の土地取得額は？1坪の単価は？筆ごとに違うのか、違うなら筆ごとの坪単価を教えてください。

回答:土地の価格の公開については、上尾市情報公開条例に照らし、「用地買収に係る単価等を契約前に公開することにより、実施時期の遅延が生じるなど、市の権利行使が損なわれる恐れがある」ので現在のところ価格を示すことはできない。

④白岡市の概算事業費は概ね26億円。上尾市の新図書館の建設費はいくらか？

回答:建築工事、電気工事、機械工事などの建設費は、約29億円。この建設費に、設計費、用地買収費などを含む概算の事業費は37億円～38億円。この差額は資産年度の違いによる労務単価や資材価格のアップ率の見込みや書庫システムの違い。白岡市の場合は公有地であり用地買収が不要であるため。

⑤白岡市生涯学習施設基本構想・基本計画巻末は白岡市生涯学習施設検討委員会設置要綱と15人の名簿、検討経過。15回にわたる会議と2回の視察が行われている。上尾市では図書館と青少年センターとの複合施設になってからの検討委員会はあるのか？

回答:新図書館複合施設は、平成26年度にまとめた(仮称)上尾市中央図書館基本構想に沿って計画を進めてきたため、改めて検討委員会の設置はしていない。

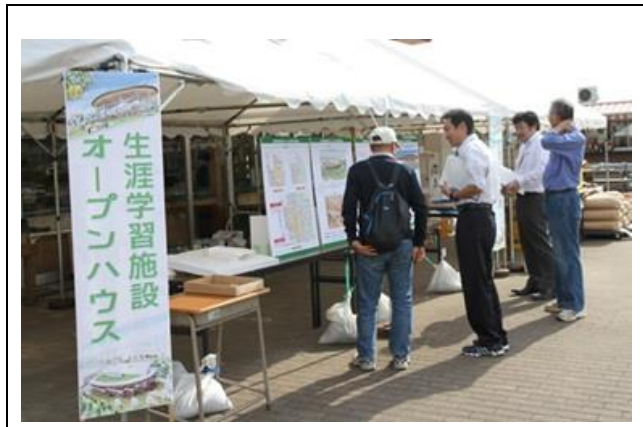
*市は図書館を単館で作る予定でした。市債を発行するために急きょ複合施設とする事にしました。単館から複合施設に変更したにも関わらず検討委員会もパブリックコメントも実施していません。



白岡市の生涯学習施設に対する小中学生のワークショップまとめの様子

⑥白岡市内の小・中学生が新図書館に対して行ったらお学びのひろばワークショップをどう思うか？上尾市では新図書館建設に対して将来の上尾市を担う子ども達のワークショップを行っているか？小中学生から意見を聞く場を設けているか？

回答：子ども達の意見を施設の計画に反映されることは重要と考えている。本市においても、小中学生から意見や提案などを積極的に取り入れ、次代を担う青少年に図書館を利用して頂けるよう取り組んでいく。



白岡市オープンハウス (出張説明会) 写真

白岡市では、広く生涯学習施設を知ってもらうため、駅頭、公民館等の8ヶ所で8回のオープンハウス(出張説明会)を行いました。来場者数は合計で548人でした。それでも白岡に新しい施設(生涯学習施設)ができることを知っていますか？の問いに知っている63%知らなかった37%でした。

⑦4月24日に行われた新図書館の説明会開催のいきさつとその内容はどのようなものだったか？参加者の意見・感想はどのようなものだったか？

回答：「新図書館複合施設整備事業についての利用者説明会」は、基本設計について、本館を利用している利用者に対して、新図書館建設計画のこれまでの経緯や基本設計の内容について説明した。参加者の主な意見として、「今後、規模の大きな会場での説明会を開催してほしい」「用地選定の経緯が不透明である」「建設費が高額である」などの意見をいただいた。

⑧新図書館の説明会に私も3回とも一部ずつ参加した。市民の声に大きな会場でもう一度意見交換会を市長出席の下、開催してもらいたいとの強い要望が出されていたが、今後の開催予定は？

回答：本計画はその都度、議会での説明を行い、承認を得ながら進めてきているので、今後、新図書館の建設についての意見交換会の開催の予定はない。

⑨白岡市がオープンハウス(出前説明会)市民シンポジウム開催、小中学生のワークショップを開催しているのに対して、上尾市の議会に説明しているのに対して市民への説明会は開催しませんでは、同じ地方自治体であまりにも差があると思う。住民税を収めている市民への住民サービスという点で問題はないのか？

回答：自治体により事業の進め方等には違いがあるが、今後も市民の意見を聴取することで魅力ある新図書館複合施設を建て、市民サービスの向上に繋げていきたい。

⑩私の知人からのメール。「私は上尾市で社会科の教鞭をとりました。残念なことがありました。それは地域上尾の歴史や文化を教えたくとも博物館も歴史資料館もないことです。20万都市で博物館も歴史資料館も郷土学習館もない市は全国どこに行ってもないのではないのでしょうか。だから子どもたちは自分の地域の歴史や文化に直に触れることも学ぶこともできない。上尾を愛する子どもが育つはずがありません。上尾の教師を長年して、子どもの心が荒れる原因の一つはここにあると私はずっと思ってきました。文化財は市民の宝です。未来の子どもたちの光です。ぜひ郷土上尾にも博物館もしくは郷土資料館(室)や郷土学習室を作ってください。」このような意見に対しての教育長のお考えは？

回答：市に現存する文化財を後世に継承していくためには、指定文化財や登録文化財を適切に保存・管理していく必要がある。また、市民が文化財や歴史資料に親しみ、その価値への理解が深められるよう、多くの人へ周知していくことも重要と認識している。

⑪平成27年度の不登校児童生徒数は？不登校問題に対する教育長の見解は？さいたま市では居場所のない若者の為に「子ども若者自立支援ルーム」がある。上尾市でもそういった引きこもりの若者を支援する部屋が必要であると担当課も認めている。そこでこういった複合施設の1室にそのような部屋を設けたらと考えるが教育長のお考えは？

回答：平成27年度の不登校児童生徒数は、小学校で19人。中学校で116人。不登校の問題は、学校が、当該児童生徒一人一人の状況を的確に把握し、それぞれの課題に適切に対応していく必要があると認識している。若者を支援する部屋は、複合施設全体を第3の居場所ととらえ、若者の自立支援に役立てられる場所としての役割も期待している。

6月12日(日)山梨県庁に勤めていた私の学生時代の先輩に山梨県立図書館を案内してもらいました。甲府駅北口3分です。今まで開発されていなかった北口には、蔵造の観光スポットや記念館、この図書館が作られました。昔は県庁職員の駐車場だったそうです。つまり公有地です。外観は山梨のブドウと水晶をイメージしたものです。イベントスペース3つ。多目的ホール。交流ルームと名付けられた多目的ルームが6つです。特徴的なのはガラス張り、中で何をやっているのかが見える点にあります。会議をしている部屋、講義を受けている部屋、創作をしている部屋等様々でした。4つのサイレントルーム(学習室)。飲食ができるカフェ。この図書館建設にも関わった先輩はこの図書館は利用率が全国1位だと自慢していました。上尾市の職員の方にも胸をはって自慢できる施設を作ってもらいたいと思っています。

さて、私の地元の浅間台地区では、囃子連がありますが、その練習で近所の方との騒音トラブルがあります。こういった伝統芸能の練習や音楽を求める若者の為の音楽室があっても良いのではないかと考えます。将来の上尾市を担う子ども達の為に本格的な学習室・自習室を作るのも良いのではないかと思います。いずれにしても複合施設になったからには、ただ単に会議室を設けるのではなくもう一度設計を見直したらどうでしょうか？現在の中央図書館存続への強い要望もあります。上尾地区での図書館の存続の必要性も市は認めています。中央図書館としての機能は現在の場所に残し、上平には色々な複合施設を中心に考え、その一部に図書館を分館として併設する。規模を大幅に縮小し事業費を大幅に削減する。上平図書館ではなく、例えば上尾市生涯学習施設とする。そのような新しい判断もあるのではないのでしょうか、ぜひ検討をお願いしたいと思います。いずれにしても市民の大切な税金を使う訳です。で拙速は避けるべきだと考えます。反対している市民団体を始め多くの市民との丁寧な対話ののちに事業を進める事を強く要望します。

特定の人種や民族への差別をあおるヘイトスピーチ(差別扇動表現)の解消に向けた対策法が5月24日の衆院本会議で可決成立しました。平成26年の12月議会で私は「ヘイトスピーチに反対しその根絶と社会的マイノリティへの差別を禁止する法整備を求める意見書」の提出者となり、全員の賛成を得て全会一致で可決され国へと提出させて頂きました。その後在特会の撤回要求も来ましたが上尾市議会として拒否しました。今回のヘイトスピーチの解消に向けた法律が成立するにあたって上尾市議会も少しは貢献できたのかなと思い大変うれしく思っております。最近の沖縄での女性殺害事件は、沖縄への差別だと私は認識しております。このような事件が二度と起こらないよう我が国においても、ここ上尾市においても人種・民族・信条・宗教等で差別が行われる事のないよう、根絶される事を願って尽力していきたいと思っております。



8月27日(土)午前10時~11時半まで第4回鈴木茂と上尾市政を語る会を実施します。場所は浅間台幼稚園駐車場西側事務所(上尾市春日 2-27-24.普通の一軒家)です。お茶を飲みながら気軽に話し合いませんか？上尾市政に対してのご意見をお聞かせ下さい。事務所☎716-7462

8月27日(土)午前10時~11時半まで第4回鈴木茂と上尾市政を語る会を実施します。場所は浅間台幼稚園駐車場西側事務所(上尾市春日 2-27-24.普通の一軒家)です。お茶を飲みながら気軽に話し合いませんか？上尾市政に対してのご意見をお聞かせ下さい。事務所☎716-7462